

# 第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名：海老名市まちづくり部駅周辺対策課

事業の名称：海老名駅自由通路

(小田急・相鉄駅舎部)整備事業

実施都市名：神奈川県海老名市

## 事業目的

海老名駅は、鉄道3線(小田急電鉄・相模鉄道・JR東日本)が乗り入れている交通結節点として利便性が高い駅であるが、その反面鉄道により市街地が分断され、中心市街地の一体的な形成が阻害されている状態にあった。そこで東西一体の中心市街地を形成し、駅周辺地区の発展を促すため、現在の連絡通路を幅員12mの自由通路として整備し、安全で快適な歩行空間を確保すると共に、昇降施設を整備し、バリアフリー化を図ることにより駅周辺の移動の利便性向上を図る。

## 事業概要

事業名称:海老名駅自由通路(小田急・相鉄駅舎部)整備事業

路線名:海老名駅地区(中央公園他)

事業箇所:神奈川県海老名市中央一丁目・上郷

事業延長:88m

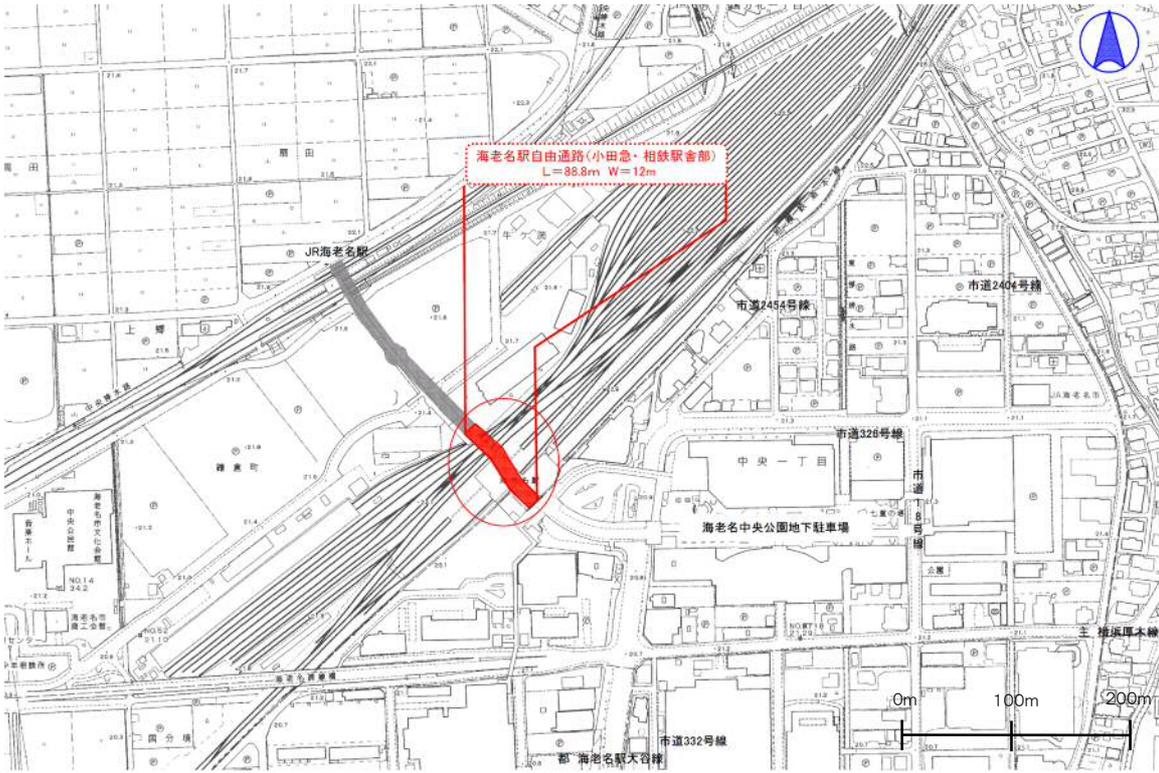
幅員:12m

事業費:5,312,199千円

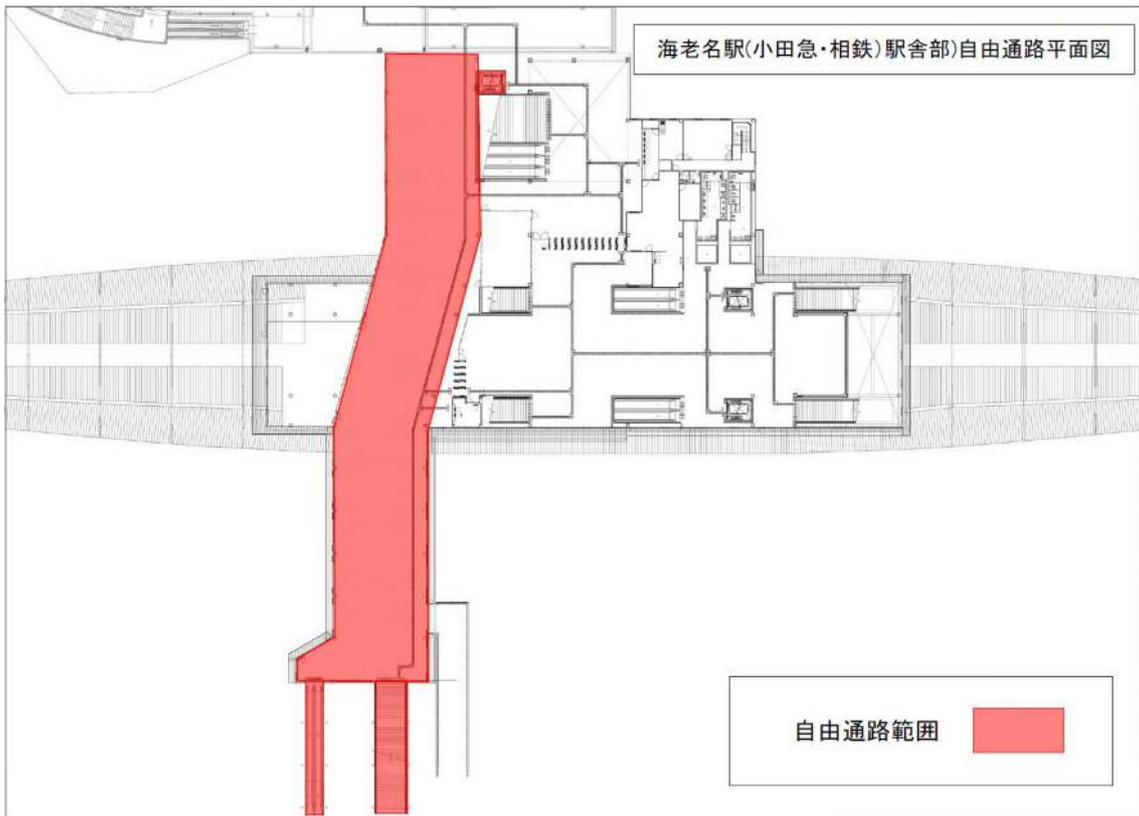
事業実施期間:平成18年1月～平成22年9月

本事業は、小田急・相鉄駅構内にある幅員6～8mの東西連絡通路を幅員12mの自由通路として整備する他、エレベーター及びエスカレーターを新設するものである。さらに、市が行う自由通路の整備に併せて鉄道事業者が駅舎内におけるエスカレーター及びエレベーター等の駅舎改良を実施する。

# 事業位置図



## 全体図(平面図・側面図・横断面図)



# 快適で安心安全な歩行空間を実現



## 【整備概要】

事業名：海老名駅自由通路(小田急相鉄駅舎部)整備事業

箇所名：海老名駅地区（海老名中央公園他）

総事業費：約53億円

事業延長：88m

事業期間：平成18年1月～平成22年9月 幅員：12m

## 通路整備前



さらに・・・

## 駅東西のバリアフリー化が完了



## 【主な整備効果】

### ○ 快適で安心安全な歩行空間を実現

	断面歩行者交通量 (人/平日終日)	1分間歩行者交通量 (人/分)	通路幅員(m)	水平歩行交通流量 (人/m・分)	サービス 水準
整備前	113,595	275	8	34.4	C
整備後	25,041	61	12	5.1	A

⇒ 幅員6～8mの通路を12mに拡幅整備することにより、快適で安心安全な歩行空間を実現しました。また、自由通路上の、最も混雑する小田急改札前の断面について、平日ピーク時のサービス水準を算定したところ、歩行者交通流量が34.4(人/m・分)から5.1(人/m・分)と減少し、歩行者サービス水準がCからAに向上しました。

### ○ 駅東西のバリアフリー化の完了

⇒ 自由通路東口側のエレベーター及び自由通路西口側のエスカレーターが整備され、海老名駅東西のバリアフリー化が完了いたしました。(なお、駅西口側については、自由通路整備前よりエレベーターが稼動しています。)

# 事業前写真

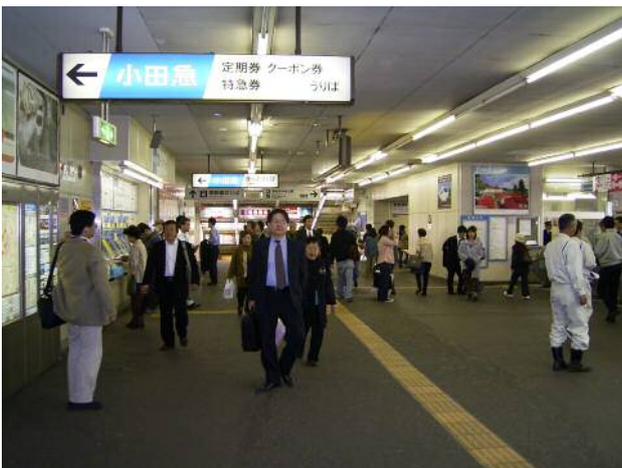
平成18年1月撮影

①



②

平成18年3月撮影



③

平成18年3月撮影



# 事業後写真

①

平成22年10月撮影



②

平成22年10月撮影



③

平成22年10月撮影

